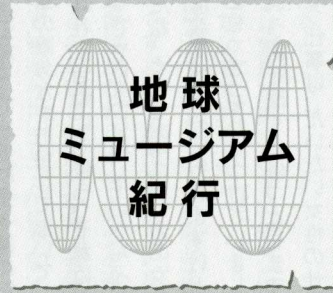


トン族観光の おすすめ博物館

兼重 努 (かねしげ つとむ)

滋賀医科大学准教授



サンジャン
三江トン族博物館／中国

入りづらいことがその要因と思われる。開館時間や入場料の表示がないばかりか人気もない。参観したければ、外の貼り紙の指示に従って、電話で職員を呼び出さなければならぬ。

せっかく三江まで来ながら、中国で、いや世界で唯一のトン族専門博物館を参観しないのは、非常にもつたいない話である。本館に立ち寄り、三江トン族にかんする予備知識をえたうえで、三江トン族生態博物館をはじめとするトン族の村々を訪れるならば、民族観光の楽しみが倍増するに違いない。

中国広西チワン族自治区の北東の端にある三江トン族自治区はトン族を主体とする民族自治県だ。トン族は人口二九六万人(二〇〇〇年)で、中国西南部の貴州、湖南、広西の三つの省(自治区)にまたがって居住する。

三江県には、三江トン族博物館と三江トン族生態博物館という、ふたつの博物館がある。後者は集落群そのものが「博物館」と命名された野外博物館であり、県内の独峒郷(トクトウ)一帯がそれに該当する。今回は県の中心地の古宜(クイ)にある前者について紹介しよう。

本博物館は三江のトン族自治区成立四〇周年を記念して一九九二年に建設された。県内にはトン族のほかにミャオ族、チワン族、ヤオ族、漢族などが住んでいるが、この博物館の展示はトン族に限定されている。中国で唯一のトン族専門の博物館―これが本館の特徴だ。展示はトン族の人びとの習俗や物質文化にかんするカラフルな写真パネルが主体だ。もちろん、物質文化の実物や模型も数多く展示されている。展示室は三つに

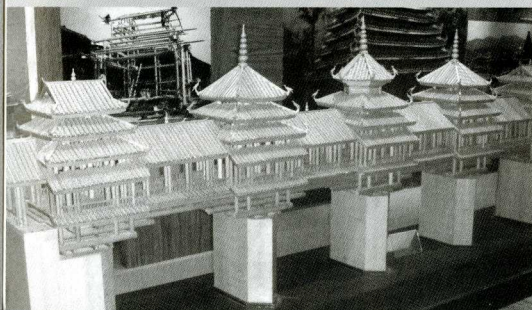
わかれている。

第一室には、三江県一帯にかつて存在した「款」とよばれる社会組織に関連するさまざまな事物が集成されている。「款」の概念図のパネルも付されていて、玄人受けする内容だ。トン族集落の写真や模型の展示もある。

第二室は、トン族の建築と習俗を中心とした展示だ。トン族民家の二階部分が囲炉裏の間を中心に再現され、トン族の生活空間を体験できるようにになっている。興味深いのは服飾関係の展示だ。トン族の服装や髪型の県内の地域差が大きいことがよくわかる。

第三室は、入り口に県内のトン族生態博物館とトン族文化の研究成果を紹介するパネルが飾られている。奥にすむとトン族の民間音楽、美術関係の展示となる。

三江県は近年民族観光にたいへん力を入れており、トン族の村を訪れる観光客の数は増えてきている。しかし、本館の参観者はたいへん少ない。現場を任せられている県文物管理所の職員はたいへん閑そうにしている。観光客のあいだで本館の知名度が低いことに加え、

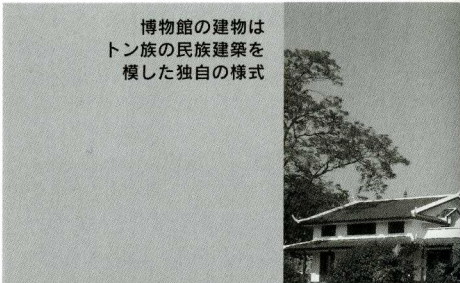


風雨橋(屋根つきの橋)などのトン族建築物の模型はとて精巧だ(第二室)

农民画
The Local People's Painting
三江侗族农民擅长绘画，形成传统，其中以独峒乡的农民画最具代表性。曾在国内展览上荣获大奖。这些农民画以家乡的生活为主要题材，内容丰富，风格独特，深受人们喜爱。



トン族の農民が描いた、民族色豊かな絵画も展示されている(第三室)



博物館の建物はトン族の民族建築を模した独自の様式



入り口の看板の漢字の上にはトン語のローマ字による表記も併記されている



参観者には職員が中国語(あるいはトン語)で解説してくれる